

2014年6月7日、8日。

墨田区総合体育館で第31回全日本ウェイト制空手道選手権大会、全日本女子ウェイト制空手道選手権大会、全日本高校生空手道選手権大会が開催されました。

横浜北支部からは選手6吊が出場し、6吊全員が入賞しました。

第31回全日本ウェイト制空手道選手権大会

重量級 準優勝

上田幹雄



昨年、軽重量級を制した上田が2階級制覇を狙って重量級に出場。

準々決勝では強豪の村岡選手から一本勝ちを奪うなど好調を見せる。

だが、決勝戦では優勝候補の鎌田選手から痛恨の一本負けを喫した。

重量級との体格差を実感した上田は、これから怪物になるほど己を鍛え上げるに違いない。

全日本女子ウェイト制空手道選手権大会

軽量級 優勝

平岡琴



大きな大会で結果が出ていなかった平岡がようやく全日本の頂点に登りつめた。

今大会に向けて強化した突き技で常に試合の主導権を握る。

フットワークと蹴り技が中心だった今までのスタイルに強力な突き技が加わったことで盤石の戦いぶりを見せた。

今後は必ず世界大会、全日本大会の優勝争いに絡んでくるに違いない。

全日本女子ウェイト制空手道選手権大会



重量級 第3位
日比野愛里(左)

就職したことで限られた時間しか稽古できなかったが、持ち前の勝負強さで手堅く入賞。だが彼女のポテンシャルを考えると今回の結果は喜べないだろう。彼女が十分に稽古を積んだ状態での試合を期待したい。

全日本女子ウェイト制空手道選手権大会
重量級 第4位
遠藤ひとみ(右)

出場する大会のほとんどで入賞している遠藤が今大会も入賞。威力十分な技は、速いコンビネーションで繰り出されれば他の追隨を許さないだろう。次の大会では世界のトップに駆け上がるほどのレベルアップに期待したい。

全日本高校生空手道選手権大会
15歳男子-65kg級 準優勝



中村海斗(右)

類まれな素質を持つ中村が準優勝。間合いの取り方が抜群で、常に自分のペースで試合を進めた。その素質に豊富な稽古が加わった時、誰もが見たことのない最強の選手になるはずだ。

全日本高校生空手道選手権大会
15歳男子+65kg級 準優勝
渡辺優作(左)

今年の国際大会で初入賞した渡辺が全日本大会で初の決勝進出。高校生離れした体格ながら豊富な運動量は相手を圧倒した。決勝では体重判定で涙を吞んだが、これからもっともっと強くなるに違いない。

✕ 閉じる